

シリーズ

平塚のお祭り⑥

セーノカミのお祭り～セートバレー～

お正月のお飾りやダルマをお焚き上げた火で団子を焼いて食べ、無病息災を祈願するドンドヤキ（ドンドンヤキ）・ダンゴヤキが毎年1月14日前後に市内の各所で行われます。この行事、むかしはセートバレーと呼ばれていました。セートバレーは、サエトバライの訛りで、漢字をあてると意味的には“塞土祓い”が近いのですが、語源には諸説があります。

期日は、古くは1月14日の夜暗くなってから行いましたが、現在は14日前の土曜日や日曜日や成人の日に行く所が増えてきました。時間も午後のまだ明るいうちに実施する所が大半です。

セートバレーは、セーノカミ（これもサエノカミの訛り）の祭です。セーノカミとは道祖神を指す古い呼び名です。漢字をあてるとすると、“塞の神”が有力で、“幸の神”“歳之神”“才の神”とあてる場合もあります。

セーノカミは市内の約220ヵ所あり、三叉路や辻といった道路の交点に、双体像や「道祖神」と書いた石塔の形で祀られています。むかしのセートバレーは、このセーノカミを祀る辻で行いました。煤払いの竹と正月飾りでオカリヤ（御仮屋）を作り石塔を囲い、子どもたちが中に入って通行人へ御神酒を売ったりしました。そしてセートという円錐形の焼き物を道の真ん中に立ててお焚き上げをしました。道路が舗装され、車の交通量が増え、住宅が建て込んだために火を燃やすことができなくなり、現在は付近の田畑や公園、河川敷など安全な場所に移して実施しています。

行事の基本は正月飾りを燃して団子を焼くことですが、地域によっては様々な興味深い要素が付随しています。今ではあまり見られなくなった古風なしきたりが残された所



南原のオカリヤ

では、セーノカミの石祠のまわりにたくさんのオカリヤが並び、これを諏訪神社へ運んでお焚き上げをします。上平塚は薬師堂前の石塔にオカリヤを立て、これにダイコンと



根坂間のセートバレー

リュウノヒゲで作った男女のシンボルが飾られるのが特徴です。根坂間の第一と第二は、新幹線付近の水田に10mあまりもの大きなセートを一日がかりで立てます。市内では最大のセートで、これが燃え上がる様は壮観です。土屋遠藤原では子どもたちが各家へ「道祖神」の御札を配りに歩いているそうです。



土屋上惣領のセートバレー

セートバレーは年頭に当たり旧年の災厄を焼き祓い、一年の幸せを迎え入れる行事です。新春の休日、各地のセートバレーを訪ね歩いてみてはいかがでしょうか。

(平塚市博物館学芸担当)



鳥海青児と三岸好太郎展

開催期日 平成20年11月15日(土)～平成21年1月12日(月・祝)

会場 平塚市美術館

開館時間 9:30～17:00 (入場は16:30まで)

休館日 毎週月曜日※1月12日(月・祝)は開館し、翌日休館。

観覧料 一般500(400)円、高大生300(240)円

※()内は20名以上の団体料金

※平塚市民で60歳以上の方、身体障害者手帳・療育手帳等の交付を受けた方は無料

お問合せ先 0463-35-2111



●展覧会内容●

本展では、平塚市美術館の所蔵する鳥海青児作品、北海道立三岸好太郎美術館の所蔵する三岸好太郎作品の展示を通して二人の画業を紹介し、あわせて両者の交流が作品に与えた影響を探ります。

平塚市文化振興基金にご協力を!!

平塚市文化振興基金にご協力いただいた方(敬称略) (平成20年8月から平成20年11月)

■湘南新舞踊協会(11.8)



発行//平塚市(文化・交流課) ●お問い合わせ及び寄付金のお申し込み

〒254-0045 平塚市見附町15-1



TEL 0463-32-2235

FAX 0463-31-6466

ご意見ご感想などお聞かせください(今後の参考とさせていただきます) →ご意見等はEメールで(E-mail//bunkoh@city.hiratsuka.lg.jp)